

**平成25年度
第2回うるま市補助金審査委員会における意見、評価のまとめ**

日 時 平成25年9月18日（水）午前9時～午後12時20分

場 所 うるみん 3階 視聴覚室B

出席委員 照屋寛之、伊波洋、福原徹、仲地一、親泊正吉、渡久地博之、長浜豊、
川本芳春、園崎香代子、我喜屋賢、池原トモ子、川野悦子 （計12名）

欠席委員 知念光憲、伊波正和、平安山香代子 （計3名）

事務局員 重島室長、新里主幹、瑞慶山係長、嶺井、上江洲

担 当 課 介護長寿課 上門課長、田仲
生涯学習振興課 伊波課長、吉浜係長、金城
指導課 伊波課長、稲福係長、大舛、仲嘉
児童家庭課 上運天係長、玉寄
総務課 上間、嘉手納

中部地区老人クラブ連合会負担金【介護長寿課】・・・・・・・・・・・・・・・・

「中部地区老人クラブ連合会負担金」の評価のまとめ

総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

本市より人口の多い市に比べ、うるま市の負担金額が大きいことに疑問がある。負担金額について市と町と村を分けて一律にするなど、不公平感の解消を図る必要があるのではないか。

また、予算に対する人件費の割合が高く事業費の割合が少ない。会員がメリットを感じる組織の見直しが必要であると考え。誰もが気軽に参加でき、交流が深まる事業内容や方法の見直しを行うことも必要ではないか。

担当課は理事や事務局に対し、改善が図られるよう、常に働きかけていただきたい。

うるま市子ども会育成者連絡協議会補助金【生涯学習振興課】・・・・・・・・・・

「うるま市子ども会育成者連絡協議会補助金」の評価のまとめ

総合評価

D：縮小・廃止を前提とした見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

スポーツクラブや塾等子どもたちの活動場所が社会の中で増えているため、子ども会への参加が少なくなっている。子ども会自体の活動が困難な状況において、地域の子ども会をまとめる連絡協議会が必要なのか、根本から見直す必要がある。

担当部署と補助団体は、協議の場を設け、検討していただきたい。

学力向上対策委員会補助金【指導課】・・・・・・・・・・・・・・・・・・

「学力向上対策委員会補助金」の評価のまとめ

総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

学力テストの実施は必要であるが、学力向上のためには、まず、基本的な生活習慣を身につけることが非常に重要であり、生活環境を改善する対策を家庭と連携し図っていただきたい。

補助金額が各学校に配分されると額が小さくなり、効果があるのか疑問である。補助金を配分せず、先生方を学力向上に取り組んでいる先進地へ派遣する等、別の使途も検討していただきたい。

学校教育の運営費と何ら変わらない補助金の使われ方が、一部見受けられる。目的や意図に沿って、真に補助すべき内容なのか精査・見直しを行っていただきたい。

うるま市放課後児童健全育成事業【児童家庭課】・・・・・・・・・・・・・・・・

「うるま市放課後児童健全育成事業（学童クラブ）補助金」の評価のまとめ 総合評価

B：現状のまま継続

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

親の共働き世帯が多い沖縄の地域特性から、学童クラブへの補助は必要性が高い。しかし、子どもたちの安全面を考慮すると、送迎は1つの学校に対し、2つの学童クラブまでとする、学校の空き教室を活用するなど、環境、人員、経費の面からより効率的な運用改善を図る必要があると考える。

子どもたちのより良い環境づくりのため、学習指導のできる指導員の配置や高齢者の活用を望むところであり、学校、地域、自治会とも継続的に連携し、積極的な取り組みを推進していただきたい。

今後も、保護者のニーズや負担軽減に応え、さらなる児童健全育成、学童クラブの充実に努めていただきたい。

うるま市自主防災組織育成事業【総務課】・・・・・・・・・・・・・・・・

「うるま市自主防災組織育成事業」の評価のまとめ

総合評価

A：さらに充実させる方向で見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

地域が自主的に防災組織を育成し、防災意識を高めていくことは大切であり、この種の事業は高く評価する。

津波等の災害は広範囲に起こるため、自主防災組織だけでなく、消防団や様々な団体等も活用・連携し、総合的な防災への取り組みを積極的に推進していただきたい。

全自治会の自主防災組織の結成が望ましい。一方、結成した自治会においては、資機材等を常時扱えるようにすることも重要である。担当部署は積極的な働きかけに努めていただきたい。